

# 外国人住民が働くさまざまな産業と事業所

## Various Industries and Their Work Places

### with Foreign Residents Employed

梅村麦生（神戸大学）

UMEMURA Mugio (Kobe University)

umemura.mugio@people.kobe-u.ac.jp

兵庫県豊岡市ではこの近年、日本全体や国内多くの地域と同様に、総人口が減少を続けるなかで、新型コロナウイルス感染症の流行にかかる出入国制限の影響などを受けた一時的な減少を挟みつつも、外国人住民の数は年々増えている。全国平均と比べるとその割合はまだ低いものの、約8万人の人口のうち1%強（2021年11月末時点で838人）を外国籍の住民が占めるに至っている（豊岡市2020, 2021）。

その豊岡市に暮らす外国人住民は、ベトナム、フィリピン、中国を始めとする約20か国の出身国から来ており、そのうち女性が6割を占めている。また全住民に比べて20~40歳の割合が8割以上と顕著に高く、男女や在留資格の違いを問わず、多くの外国人住民が豊岡市内のさまざまな事業所で何らかの仕事に従事している（豊岡市2020: 5-11, 31-34）。

それでは豊岡市に暮らす外国人住民は、どのような仕事に従事しているのか。2019年度の豊岡市・神戸大学共同研究による調査では、豊岡市に拠点を置く88件の事業所が外国人従業員を雇用していることがわかった（豊岡市の範囲でのデータは公開されていないが、厚生省兵庫労働局が公開している2019年10月末時点での豊岡市を含む但馬地方の「外国人雇用事業所数」は224件であり、事業所数・従業員数の割合などから概ねその半数を豊岡市が占めていると考えられる）。その内訳として、あくまで同調査で把握した範囲内ではあるが、産業別では「製造業」（食料品製造業以外）が最も多く（26件）、それに「宿泊業」（19件）、「漁業」（13件）が続いている。しかしそれ以外にも、「医療・福祉」（7件）、「食料品製造業」（6件）、「飲食店・飲食サービス業」（4件）、「建設業」（3件）、「農業・林業」（2件）など、さまざまな産業で外国人住民が働いていることがわかる（梅村2021: 64, 表5ほか）。また地域別に見ると、2005年の合併前の旧1市5町の範囲に基づく各地域のいずれにも外国人従業員を雇用する事業所があり、特に豊岡地域と日高地域に多く位置している。

雇用形態に関しては、外国人住民の在留資格別の外国人住民数で最も多くを占めているのが技能実習（2019年11月末時点では355人、外国人住民の42.7%）であったように、さまざまな産業で導入されており、上記88件の事業所のうち40件で雇用されていた。さ

らに技能実習以外にも、正社員、契約社員、派遣社員、請負社員、またインターンシップ、EPA 介護福祉士候補者など、多様な雇用形態があり、技術・人文知識・国際業務や特定活動などの在留資格から、国際結婚や日系人とその家族による永住者や定住者などの在留資格をもつ人びとに至るまで、さまざまな来歴で豊岡市に在住する外国人住民が働いている。

そして新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、新型コロナウイルス感染症の流行前である 2019 年 11 月末と、その後の 2021 年 11 月末の外国人住民数を見ると、総数としてはほぼ変わらないが(831→838 人)、出入国制限の影響を受けて新規の技能実習生が入国できず、大きく数を減らしている(355 人→243 人)。その分、「特定活動」や「特定技能」、「永住者」、「定住者」などは増えており、技能実習から移行した人びとや、日本国内の他地域から移ってきた人びとが一定数いることがうかがえる(豊岡市 2021)。

以上、2019 年度の事業所調査と 2020-2021 年度の追加調査における質問紙調査と聞き取り調査の結果から、とりわけ現役世代の減少や若年女性の転出を含む人口構成の変化、それと結びつく人手不足を背景とする事業所の取り組みを始めとして、兵庫県豊岡市で外国人住民が働くさまざまな産業と事業所の特徴と、新型コロナウイルス感染症の流行を受けた変化について、検討する。

## 文献

- 福田恵, 2020 「村落と移動をつなぐ新たな地平」 福田恵編『人の移動からみた農山漁村——村落研究の新たな地平』(『年報村落社会研究』第 56 集) 農山漁村文化協会, 256-312.
- 豊岡市, 2020 『2019 年度 豊岡市・神戸大学共同研究「外国人住民に関する調査研究」報告書』, (2022 年 3 月 14 日最終閲覧, [https://www.city.toyooka.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/011/099/houkokusho.pdf](https://www.city.toyooka.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/011/099/houkokusho.pdf))
- 豊岡市, 2021 『2020-2021 年度 豊岡市・神戸大学共同研究「外国人住民に関する調査研究」報告書』, (2022 年 3 月 14 日最終閲覧, [https://www.city.toyooka.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/019/934/houkokusho.pdf](https://www.city.toyooka.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/019/934/houkokusho.pdf))
- 梅村麦生, 2021 「地方の諸産業と外国人技能実習生——2019 年度兵庫県豊岡市の調査研究から」『関西学院大学先端社会研究所紀要』18: 59-76, (2022 年 3 月 14 日最終閲覧, [https://kwansei.repo.nii.ac.jp/?action=repository\\_uri&item\\_id=29588&file\\_id=22&file\\_no=1](https://kwansei.repo.nii.ac.jp/?action=repository_uri&item_id=29588&file_id=22&file_no=1))

## 付記

本報告は、2019 年度および 2020-2021 年度豊岡市・神戸大学共同研究「外国人住民に関する調査研究」による研究成果の一部に基づいています。